

スギ花粉症に対するアレルゲン免疫療法に使う「標準化スギ花粉エキス」(商品名シダトレン)が当院でも処方可能になりました。

治療開始時期:スギ花粉非飛散期(6月から12月上旬まで)に新規治療開始

適応

1.:12歳以上

2.:採血検査を行いスギの特異的IgEが上昇、もしくは鼻汁好酸球検査で陽性で、なおかつスギ花粉の時期に特に症状が強いこと。

3.:舌下免疫療法の確認事項の説明を受け、理解して頂いた上でそれに同意頂くこと。

4.:初回投与は原則として月曜日から金曜日の午前中(アレルギー反応が起こった場合に対応のため)午後及び土曜日ご希望の方は御相談ください。

5.:現在、以下の状態や病気をお持ちでないこと

①気管支喘息

②悪性腫瘍(がん、白血病)

③自己免疫疾患、免疫不全症

④重症心疾患、重症肺疾患、重症高血圧

⑤急性感染症(発熱を伴うかぜ、抜歯後、口内炎、口の中の手術後など)

⑥妊婦・産婦・授乳婦

⑦βブロッカー服用中(インデラル、アーチストなど)

⑧全身ステロイド服用中

当院初診の方は、治療を開始するまでに通常三回受診頂く必要があります。

第一回目：治療提案・検査（治療希望者に）

第二回目：検査結果説明と適応判断・治療説明（適応のある治療希望者に）

第三回目：治療開始（初回投与は院内にて行います舌下にシダトレン投与し2分間保持してもらった後に嚥下します。投与後30分はクリニック内で安静にしてもらい再度診察となります。）

2週に1回通院できる方が対象です（2015年10月中旬以降は月に1回の通院で可）。

また、治療の推奨期間は3年以上であるため、現在、転居の予定がある方や継続して通院ができない方はお受けできません。

効果については導入2年目からはかなり期待できると思いますが完全に症状を抑えるのは難しいので症状あるときはレスキューとして薬使います。

アレルギーのあるものを体内に取り込むので副作用が出る場合があります。局所症状としては口腔内腫脹、全身症状としてはアナフィラキシーショックがあります。

口腔内腫脹は内服開始後出る方が多いですが重篤になる方は少ないと考えます。アナフィラキシーショックは臨床治験の際もなく極めて可能性は低いですが起こった際は血圧低下、呼吸障害を起こすことがあります。新潟市内の耳鼻科では万が一起こった際は大学付属病院、新潟市民病院と協力して対応することになっております。

皆様が一番気になる効果ですが今までスギ花粉が 10 個で症状が出ていた人が 50 個までは症状出なくなるといった感じと考えていただければよいと思います。

もっと詳しい情報を知りたい方はシダトレンの開発販売を行っている鳥居薬品のアレルギー免疫療法専門サイト <http://www.torii-alg.jp> をご覧ください。